

令和2年度 校内研究

第2回研究授業 3年2組 社会 A.S. 教諭

令和2年11月27日（金）

課題の設定

前の時間までに、グループごとに調べた道具について、古い順に並べてみましたね。

今日は、「それぞれの道具の良さを見つけ、暮らしがどのように変化してきたのか」を考えてみましょう。よく話し合ってください。



【本時の流れの確認】 ①分かったことや気付いたことを話し合う。 ②暮らしがどのように変化してきたかを話し合う。 ③振り返りカードを書き、発表する。

情報収集

2人で遊べるようになってことじゃないかな。

このゲームの良さってなんだろう？



ちよつとずつ、テレビが薄くコンパクトになってきているね。



整理・分析

持ち運びができるようになったから、電車の中でも聴けるようになったよね。



感染症拡大防止対策として
2/3の先生方は、別室にて
リモート参観をした



まとめ・表現

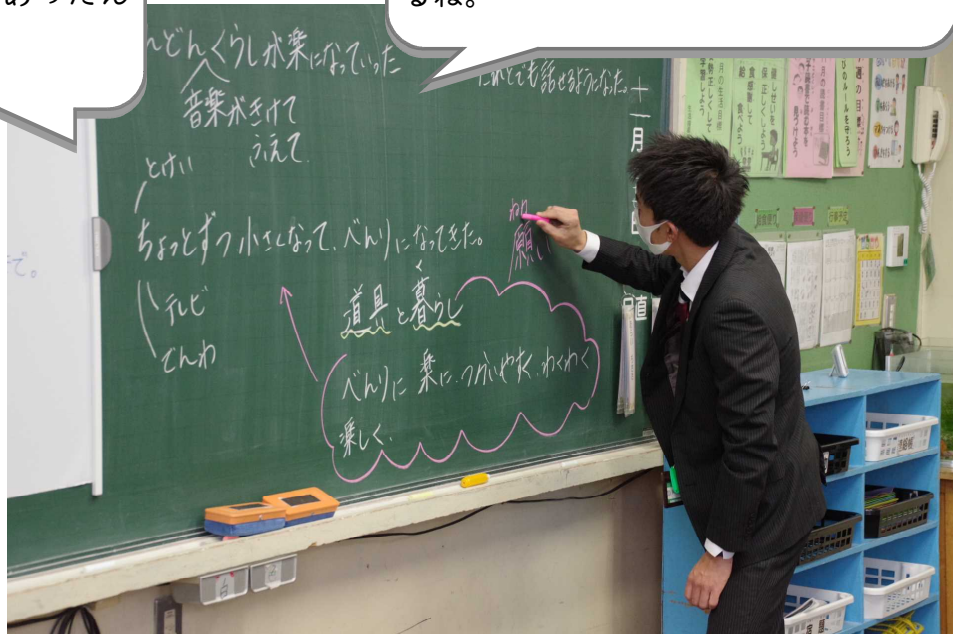


グループでの話し合いを通して、
くらしの変化について気がついたこ
とを、ふりかえりシートにまとめま
しょう。



「くらしをよりよくしたい！」
という、人々の願いがあったん
だね。

時計や電話はどんどん小さくなり、
テレビは大きく、薄くなってきてい
るね。



研究協議会

講師は、一般社団法人教育デザインラボ代表理事、都留文科大学国際教育学科特任教授の石田勝紀先生です。



感染症拡大防止のため、体育館で協議会を実施。

【授業者自評】



なぜ、同じ勉強をしているのに差がつくのか？それは、頭脳のOSが異なるからです。

頭脳のOSとは、ずばり「考える力」のことです。「考える力」とは「疑問を持つ力」と「まとめる力」です。この二つが習慣化されると、OSのスペックは上がり出します。



「疑問を持つ力」を伸ばす三つのマジックワードは「なぜ？ (Why?)」「どう思う？ (How?)」「どうしたらいい？ (How to do?)」です。「まとめる力」を伸ばす二つのマジックワードは「要するに?」「例えば?」です。これを普段から上手に使って考える癖をつけさせるのです。

